

授業科目	ビジネスファイナンス				単位	2		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO31510J		
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-3 DP2-1 DP3-1 DP5-1			
担当教員	池口 功晃							
授業概要	ビジネスでは数字(例えば、いくら利益なのか、あるいは、赤字なのか)が大事である。本授業では、企業財務(ファイナンス)の諸事項を扱う。具体的には企業の資金調達・運用の手法、企業の業績結果および業態を示す決算書の分析(財務分析)など実践的な基礎知識を学ぶ。							
学生が達成すべき行動目標	1. 企業の決算書を読み分析することができ、その企業の業績・業態の良し悪しを説明できる。 2. 各業界の財務諸表を比較分析し、経営状況を自ら説明することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	50	0	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)	10	10					20	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)	10	10					20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)	10	10					20	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)	20	20					40	
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
1. 企業財務、決算書に関する基本的な知識をよく理解している。 2. 財務分析の手法と考え方を現実の企業に当てはめて説明することができる。				企業財務に関する基本的な知識を一通り身に付けることができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	決算書とは何か			講義		復習		60

2	貸借対照表①(有形固定資産・無形固定資産)	講義	復習	60
3	貸借対照表②(投資その他の資産・負債)	講義	復習	60
4	貸借対照表③(資本会計)	講義	復習	60
5	損益計算書①(収益の認識と測定)	講義	復習	60
6	損益計算書②(費用の認識と測定)	講義	復習	60
7	キャッシュフロー計算書①(意義と読み方)	講義	復習	60
8	キャッシュフロー計算書②(応用)	講義	復習	60
9	財務分析①(安全性分析)	講義	復習	60
10	財務分析①(収益性分析)	講義	復習	60
11	事例研究①(旅行会社の財務分析)	講義	復習	60
12	事例研究②(航空会社の財務分析)	講義	復習	60
13	事例研究③(ホテルの財務分析)	講義	復習	60
14	事例研究④(テーマパークの財務分析)	講義	復習	60
15	総まとめ	講義	復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				

27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	簿記の知識を一部必要としますが、授業中に随時基礎的な内容については確認していきます。			
テキスト	毎回、講義レジュメを配付する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	太田康弘(2018)『ビジネススクールで教える経営分析』日本経済新聞社			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・財務分析の勉強と合わせて、簿記の基本的知識を習得しておく、よりよく理解する上で有効です。 ・将来、金融(銀行、証券、保険等)への就職を考えている学生は履修をお勧めします。 			
達成度評価に関するコメント	試験、小テストの詳細については授業で説明します。			